

北海道統括支店 道央地域より新年のご挨拶

明けましておめでとう御座います。

旧年中は、弊社の取扱い製商品につきまして格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、平成19年に始まった世界的な飼料原料の高騰も、一昨年の秋以降は急激な値下げ基調に転じ、輸入されている殆どのもので値下げが行われました。

配合飼料も四半期単位での改定が行われ、単味や肥料等も値下げとなり、酪農畜産経営においては十分では有りませんが生産費が軽減される年となりました。

しかし、昨年の秋頃より配合飼料の主原料でありますトウモロコシや大豆の市況は、値上がり基調に転じており今後の動向には注視が必要です。

また、一昨年のリーマンショックを起点に、国内経済は低迷期に入っており、雇用の悪化から牛乳を始めとする乳製品や牛肉等の消費形態は大きく変化し、牛乳は期中改定が行われ素牛や枝肉価格は低迷の様相を呈しており、今一度国内農作物の価値を認識した消費拡大への取組が大切と考えます。

一方、昨年の道内気候は近年に無い天候不順となり、

長雨の影響は特に道北地区と道南地区で収穫遅れに繋がり、牧草類やトウモロコシの低収と品質劣化が危惧され、これに伴う牛や経営への影響を心配しています。

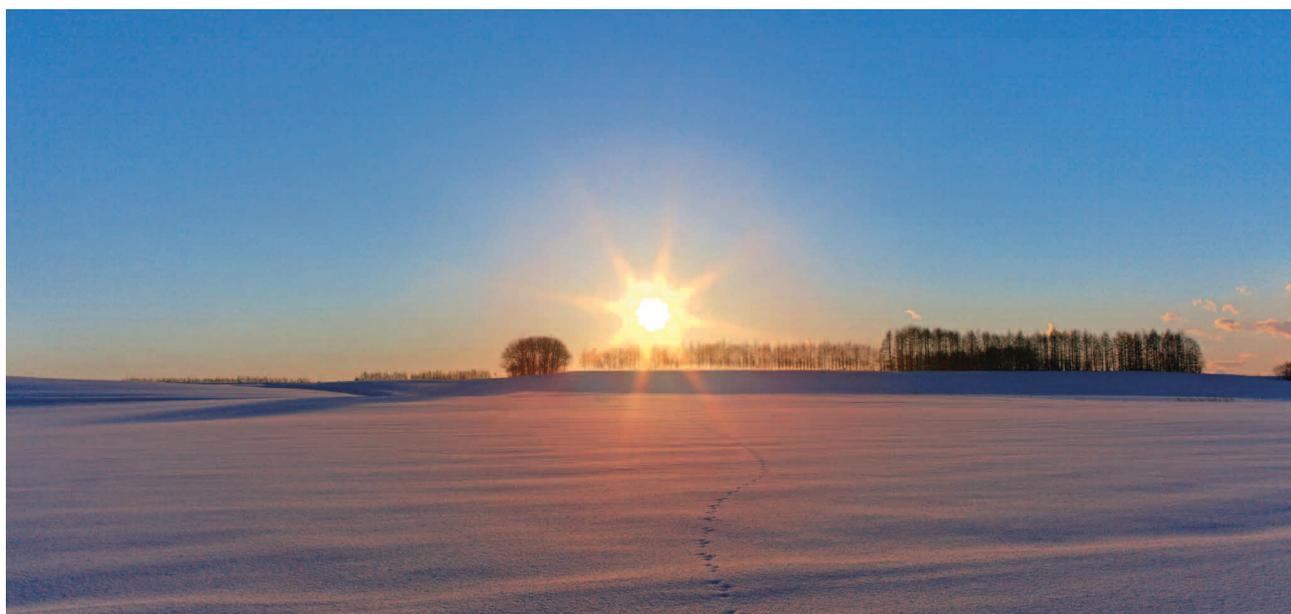
当社では、いち早く道央地域内の現地確認を進め、昨年の秋以降減収や品質低下対策を検討し、各種の分析と把握に基づく粗飼料の不足対策飼料等を準備し、個別の対応について取組みを進めております。何なりとご相談頂ければ幸いです。

また、平成20年春から取組みを開始しました、各拠点内(道央、八雲、旭川、豊富)での自給飼料増産と品質向上への取組みは、現地の実証圃場も2年目を迎え、関係者の皆様から一定の評価を頂き、今後も継続し拡大する事が大切と認識しております。

平成22年も、所員一同酪農畜産経営の安定化に寄与すべく、生産現場での自給飼料増産と品質改善に向け、取組みを継続して参りますので宜しく願いいたします。

北海道統括支店(道央地域担当)

副統括支店長 篠原 忠利



(帯広市郊外)

北海道統括支店 道東地域より新年のご挨拶

新春を迎え、皆様のご健勝と益々のご繁栄を心よりお慶び申し上げます。

昨年中は、格別なご高配とご愛顧を賜りまして厚く御礼申し上げます。

今年も引き続き変わらぬお引立てを賜りますよう心からお願い申し上げます。

昨年、北海道は冷湿害等により多くの農作物が被害を受け道が取り纏めた農作物の被害状況は、被害市町村数140、被害農家戸数2万5,800戸、被害面積49万8千haとなっており、被害見込総額595億円に及んでいます。農作物別の中で飼料作物の被害面積は194千haで被害総額は55億円に及びました。

冷湿害等を受けた昨年の1番草グラスサイレージは天候不順から道東地域では水分が高い傾向にあります。1番草の収穫開始は例年並でしたが収穫終了までに時間がかかり、栄養成分は平年と比較するとやや低く、消化性の低い繊維が多く一日の乾物摂取量が制限される懸念があります。

昨年の1番草グラスサイレージは消化性の低い繊維が多く含まれる為、乳量に影響を与えています。

飼料分析を行い、分析結果を基に効率的な飼料設計を行う事をお勧めします。

◎良質な粗飼料への雪印種苗の取組み

一昨年の配合飼料価格の高騰時に自給飼料の必要性が叫ばれ、更新意欲が増していると思われませんが、草地更新率は年々低下しており、経年草地が増加する傾向にあります。

粗飼料の品質が乳量、乳質、牛の状態に大きな影響を与える為、雪印種苗の研究開発グループは平成15年頃より「牧草サイレージ発酵の改善」に取り組んでおります。その結果、道内の草地の多くがチモシー主体草地ではなくシバムギ、リードカナリーグラス等が優占する草地になっている事が分かってきました。

◎良質な粗飼料を生産する具体的な手法として雪印種苗は各地域に「実証圃場」を設け具体的な手法を検討しております。

「実証圃場」で取り組んでいる事例は

- ①「作溝型更新機械」を活用した草地（簡易）更新
- ②イタリアンライグラスを活用した「草地強害植物」（雑草）の抑制
- ③越冬性、永続性に優れるアルファルファ「ケレス」の普及促進
- ④ススモン病抵抗性が極強のF1トウモロコシ品種「ビビッド」などの普及促進
- ⑤F1トウモロコシを収穫した後のライ麦作付による自給飼料の増産等、現場から新たな技術と情報が生み出せる様に進めて行きたいと思っております。

◎昨年の粗飼料不足に向けて

自給飼料の増産への取り組みだけでなく、昨年の粗飼料不足・品質・低栄養価をカバーする為にビートパルプ、キューブ等の粗飼料源を50%以上配合した「ファイバーアシスト」を販売開始しております。「ファイバーアシスト」は販売開始後、多くの皆様に好評です。是非とも一度近くの営業所へお問い合わせ下さい。

本年も良質粗飼料生産を中心に皆様のお役に立てる様最善を尽くす所存ですので、皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに相変りませぬご愛好、引立てをお願い申し上げます。

北海道統括支店（道東地域担当）
副統括支店長 白石 良太